



三重の民話・説話



2025年1月15日(水)

～3月23日(日)

※2月3日～17日を除く

三重県に伝わる民話や説話、いくつ知っていますか？

ちょっと笑える話から、ゾゾっとこわい話まで。四日市や県内の民話を知る地域資料を紹介します。

民話・説話に関する地域資料

※印のついている資料には四日市の民話・伝説が掲載されています。

	資料名	著者・出版者	出版年	貸出
※	日本怪異妖怪事典 近畿	朝里樹/監修, 笠間書院	2022	○
	日本の伝説 中部・東海	藤沢衛彦/著, 河出書房新社	2019	○
	47都道府県!!妖怪めぐり日本一周 2	伊藤まさあき/絵、妖怪探検隊/編著, 汐文社	2017	○
※	読みがたり三重のむかし話	三重県小学校国語教育研究会/編, 日本標準	2004	○
	いまに語りつぐ日本民話集 [第3集]4	野村純一、松谷 みよ子/監修, 作品社	2003	×
	いまに語りつぐ日本民話集 [第3集]8	野村純一、松谷 みよ子/監修, 作品社	2003	×
※	ふるさとの届けもの 伝えたい三重のおはなし	倉田正邦/監修・校訂, 三重県生活部	2002	×
※	文化展望・四日市 第18号	四日市市文化振興財団/編集・発行	2001	○
※	三重のむかし話 改訂版	三重県小学校国語教育研究会/編, 日本標準	1996	○
※	東海むかしばなしの旅	平松 哲夫/著, 風媒社	1993	○
	東海の民話	小島 勝彦/著, 中日新聞本社	1992	○
※	三重県風土記	平松 令三、伊藤 達雄/監修, 旺文社	1989	○
※	三重県の民話	日本児童文学者協会/編, 偕成社	1982	○
※	三重の伝説	三重県小学校国語教育研究会/編, 日本標準	1981	○
※	三重むかしむかし	小川 忠彦/著, 光書房	1978	○
※	伊勢・志摩の民話	倉田 正邦/編, 未来社	1978	○
※	東海の伝説	堀田吉雄/編著, 第一法規	1973	○
※	四日市市史 第5巻 民俗編	四日市市/編集・発行	1995	○
※	三重県史 別編 民俗	三重県/編集・発行	2012	○

四日市の民話はこんな資料にも！

『広報よっかいち 平成2年4月上旬号～平成4年3月上旬号』（四日市市役所）～連載「ふるさとの民話」～

『東海けいざい 平成3年6月12日～平成4年7月8日』（東海経済新聞社/発行）～連載「三重の昔むかし」～

『泗水 No.1～11』（四日市市立図書館/発行）～連載「ふるさとの伝説をたずねて」～

※『みえの民話』（四日市市三重長寿会/編集・発行, 1977 [三重地区])のように各地区の「郷土史」や

「地区広報」にも民話や説話が紹介されているものがありますよ！



★次のページでは、四日市の民話・伝説の一部を紹介しています ➡

四日市に伝わる主な民話・伝説

たくさんある民話の一部を紹介します

※あらすじは、『四日市市史 第5巻』、『広報よっかいち』連載などを参考にしました。

詳しい内容や続きは資料を読んで
たしかめてみてくださいね！



足をおられた狛犬（羽津）

志氏神社の神様は、狛犬たちに留守中にしっ
かり神社を守るように言いつけて出かけました。
しかし、狛犬たちはじっとしていられなくなり出
かけ、神様に叱られてしまいます。しばらくはお
となしくしていた狛犬たちですが、楽しそうな祭
の音が聞こえてきて…

午起のはなし（橋北）

海辺の村に、自分の白馬をととても可愛がってい
るおじいさんがいました。おじいさんは、村の砂浜
を埋め立てる計画が海の神様を怒らせるのでは
と心配していました。ある晩、馬の激しい足音で
おじいさんが目を覚ますと…

もうこまい観音寺（大矢知）



垂坂にある寺の住職は毎晩遅くまでお経
をあげていました。いつの頃からか、気が
つくと後ろにかわいらしい子どもが座って
いるようになり…

三合ばば（三重）

昔、隣村に行くにも暗い森を通らなければならな
い村がありました。ある日、村に住むおばあさん
は森の中で近道を見つけます。村の人たちが自
分たちも通らせてほしいとおばあさんにお願ひし
ますが…



和泉式部の化粧井戸（神前）

京の都に住む美しい娘・和泉式部は顔にあざが
あるのを苦にしていました。
ある時、伊勢の国の保曾井観音寺の近くの清水
で顔を洗えば治るという夢を見て…

髪の毛の井戸（八郷）

戦国時代、萱生城は織田信長勢の攻撃を受け
落城します。城にいた女性たちは、井戸に身を投
げました。そののち、井戸を覗いた人には不思
議なことが起こり…

四日市の有名な民話と言えば、大入道のはなし

四日市祭の大入道山車は、これらの民話を元に作られたとも言われています。
その大入道の話もいくつかの種類があるようです。主な話の一部を紹介します。



タヌキと人との化け比べ

四日市の中納屋町には、いたずらタヌキがすんで
いました。困った人びとは、大入道の人形を作って
追い払おうとします。しかし、タヌキはそれよりもっと
大きく化けました。そこで町の人びとは、大入道の
人形にある仕掛けをすることを思いつきます。する
とそれを見たタヌキは…

（人とタヌキの化け合戦にもいろいろな種類があるようです）

★『東海むかしばなしの旅』、『三重むかしむかし』、
『広報よっかいち』などに掲載されています

反物屋で働く大男の話



呉服屋に若い大男が訪ねてきて、店で働かせて
ほしいとたのみます。主人は根負けして雇うことに。
すると日が経つうちに店に来る客が増え、店は大
店に成長しました。店主は喜び大男を娘の婿にし
ようと思いますが断られます。

それからしばらくたったある夜、店主が大男の部
屋の前を通ると…

★『三重のむかし話』、『ふるさとの届けもの（北勢）』
などに掲載されています

海坊主やタコが
出てくる話も
あるみたいだよ

四日市市立図書館

〒510-0821 四日市市久保田一丁目2-42 Tel 059-352-5108, Fax 059-352-9897
Mail tosyokan@city.yokkaichi.mie.jp ホームページ <https://www.yokkaichi-lib.jp>